

一生自分の歯で咬みたい その5

インプラント特集

目次

インプラント特集

- その一 はじめに (当院のモットー) 4
- その二 インプラントの治療は安全ですか? 6
- その三 歯科医院によって、なぜ費用が大きく異なるのか? 8
- その四 なぜインプラントをお勧めするのか? 11
- その五 インプラントの利点 14
- その六 インプラントの欠点 16
- その七 インプラントの適応症は 18
- その八 インプラントと入れ歯の違い 20
- その九 閑話休題 (東日本大震災) 23
- その十 インプラントと歯周病 25

- その十一 これからインプラントを考えたい方に 27
- その十二 インプラントに年齢制限はありますか? 29
- その十三 インプラントはどのくらいもちますか? 30
- その十四 閑話休題 (寺島実郎氏について) 32
- その十五 閑話休題 (漫画、包丁人味平) 34
- その十六 インプラントとは 36
- その十七 インプラントを長持ちさせるには 40
- その十八 インプラントと糖尿病 42
- その十九 歯周病とインプラント 45
- その二十 インプラントのメンテナンス 47
- その二十一 インプラントの治療期間 48

星谷昭三編・著者



その一 はじめに (当院のモットー)

私は、自分自身が怖がりでしかも痛がり屋ですので、昭和53年の開業以来ずっと、「できるだけ患者さんに精神的にも身体的にも痛みを与えない歯科治療」を心がけてきました。

今までの歯科治療は、痛くなってから歯医者にかかる、歯に穴があいていれば削ってつめる、痛みがあれば削って歯の神経をとる、又は歯を抜く、という治療でした。

しかし、昨今、当時とはかなり時代が変わってきました。

今の歯科医院は、特に当院では、歯に穴があく前に、痛くなる前に、そうならないように、お口のお手入れ(予防)が必要と考えています。

そして現在では、「抜かない、削らない、痛くしない」をモットーにしています。

しかし、やむを得ない場合、つまり、患者さんが痛みから解放されて楽になる場合は、抜いたり、削ったりもします。

私たちは、人々が生涯にわたって、おいしく食事ができるように、しかも一生自分の歯で健康な食生活を送っていただける事を目標にしています。

しかも安心、安全、リラックスして治療を受けていただけるように配慮しています。

最近、この数年前からインプラント治療が普及してきましたが、まだ多くの患者さんは、インプラント治療に対して、漠然とした不安を持っている方が多い事につきました。

当院でも3〜4年前からインプラント治療を導入しております。診査、診断をきちんと行えば、安心、安全、そして有効な治療法でありますので、この際、多くの患者さんに、インプラント治療について、知っていただくため、当院の常勤、非常勤を含めたすべての歯科医によって、インプラント治療に関して、いろいろな面から、やさしく解説した本を書きました。内容は、インプラントシステムやその特徴、利点、欠点をはじめとして、約20項目にわたって、理解しやすいように記述しました。

インプラント治療は基本さえ守ればきわめて有効な治療法であることが理解していただけると思っています。

最後に、やすらぎ、癒しの治療空間を創造し、お口の健康を守り続ける歯科医院でありたいと願っています。

星谷昭三



その二 インプラントの治療は安全ですか？

インプラント治療は、顎の骨を削って金属のネジ（インプラント）を埋め込むという手術を伴う治療です。「手術」というと恐怖感を抱いたり、その安全性について不安に思う方も多いのではないのでしょうか。

インプラントの手術は、通常、局所麻酔をして行います。

場合によっては、恐怖心が強い方に対して静脈内鎮静法などを併用して、眠ったような状態で手術を受けることも可能です。いずれにしても、通常、手術中はほとんど痛みを感じることがありません。術後の痛みに関しても、治療内容による差や個人の感じ方に差はありますが、抜歯を行った時と同じ程度です。

手術のために入院する必要もありませんし、翌日から通常の生活を送ることができます。

また、現在使われている歯科用インプラントは、整形外科で骨折の治療などに使用されるボルトやナットと同じ素材である、純チタン・チタン合金で作られています。

そこから分かるように、チタンはアレルギーなども起こりにくく、体に調和する素材ですから、無害で発ガン性もなく腐食しません。

インプラント治療を受けた後、適切なメンテナンスを行うことが出来るのであれば、半永久的に第2の永久歯としての機能を維持することも不可能ではありません。

インプラント治療は十分な基礎知識と技術を持って行われれば非常に安全性の高い手術ですが、治療・手術にリスクのないものではありません。

ですから、手術前にしっかりと診断を受けることが重要です。インプラントを埋入する顎の骨の形態・神経・血管の存在をしっかりと把握する必要があります。

安全な治療を実現するためには、重要視すべきはCTです。

人間の顎には大きな神経や血管が通っているので傷つけないように歯科医（外科医）は手術をします。この神経や血管を傷つけないようにするにはCT撮影で確認します。

そうして、正確な診断と綿密な治療計画を立て、それに基づいて慎重に手術を行います。

事前の検査が不十分であったり、患者様の全身状態の確認が不十分であった場合など、適切な施術が行われなかった結果、場合によっては再手術が必要になる事例もあります。

森 宏美（旧姓柳田）



その三 歯科医院によって、なぜ費用が大きく異なるのか？

インプラント治療は自費（自由）診療であるため、各医院によって、費用・料金に違いがあります。その費用は比較的安価なものから高額なものまでまちまちです。では、どのような違いがあるのでしょうか。

1. 使用するインプラントメーカーの違いによる材料費、器具、機材。
2. 歯科医の技量、医院の設備やサービス。
3. 取り付ける歯の素材（同じセラミックでも質に違いがあります）。

ホームページには、いろいろな額が書いてありますが、大体一本あたり30万〜40万円というのが相場だといわれています。

上記の費用というのは治療の総計費用という意味です。治療にはインプラント体の手術に関するもの、人工の歯の作成に関するものの工程があり、その合算した総計が30万〜40万円程度というわけです。

また、

- ・骨が足りないときの骨の再生手術の料金
- ・保証制度の料金
- ・麻酔の料金

など他にも多々要素があり費用に違いが生じています。

ですから、費用については事前に十分相談することが大切です。

一番良い方法は、納得のいく医院に出会えるまで様々な医院に足を運んで実際に話してみることです。

もし、人間の顎の骨が全員同じ量・質であれば、ただ単純にインプラントを埋めて人工歯をかぶせればいいので、一番値段の安い歯科医院をお選びになればいいと思います。しかし、既製品を買うという消費行為とは違い、非常に繊細な医療行為ですので、埋める位置の詳細な選択、人工の歯の自然感、骨の量や位置等を考慮しないと、噛めるけど、歯の形が不自然だ、清掃しづらい……。というような不満足な結果となってしまいます。

診療で得た歯は、第二の歯としてその先何十年と付き合うわけですから、十分納得できる値段と適正な治療を受けるようにしたいものです。